

All Miyazaki体制で臨床研修イベントを実施しました!

All Miyazaki イベント1

宮崎大学医学部生対象マッチング登録説明会 & 宮崎県内基幹型臨床研修病院合同説明会が開催されました!

(宮崎大学医学部
附属病院)
小松卒後臨床
研修センター長(宮崎県立延岡病院)
研修医の
阿萬先生(左)と
土居臨床研修
センター長(右)(藤元総合病院)
病院管理部研修医担当の
温水様(宮崎県立日南病院)
内科医長の
土田先生(左)と
研修医の
橋本先生(古賀総合病院)
研修センターの
西様(左)と
研修医の
岡田先生(中央)
山崎先生(右)(宮崎市医師会病院)
研修医の
中田先生(左)と
プログラム責任者の
有留先生(右)(宮崎生協病院)
研修医の
齋藤先生(宮崎県立宮崎病院)
研修医の
不動寺先生

令和6年6月7日(金)に宮崎大学医学部にて、宮崎大学医学部及び宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会の合同主催による「マッチング登録説明会&宮崎県内基幹型臨床研修病院合同説明会」が開催され、本学医学部6年生117名と、1年生から5年生までの地域枠学生24名が参加しました。

第一部で宮崎大学医学部医療人育成推進センターの小松教授からマッチング日程と登録方法の説明が行われ、第二部で県内8基幹型臨床研修病院(県立宮崎、県立日南、県立延岡、古賀総合、宮崎生協、藤元総合、宮崎市医師会、宮崎大学)から各臨床研修プログラムの説明が行われました。各病院の指導医の先生や研修医が、準備したスライドや映像を用いて、参加した学生に熱心に説明されていました。

説明会終了後には、各研修病院個別説明の時間が設けられ、参加した学生が興味のある研修病院のブースに赴き、気になる質問や相談を行っていました。

All Miyazaki イベント2

レジナビフェア福岡&東京に出展しました!

令和6年5月19日(日)に福岡、令和6年6月16日(日)に東京でレジナビフェアが開催されました。All Miyazakiブースも出展し、宮崎大学も参加してきました! 福岡会場では卒後臨床研修センター長の小松先生と研修医の先生3名、東京会場では研修医の先生2名が参加し、それぞれの会場で学生からの質問に答えたり、本院プログラムについての説明を行いました。

福岡では36名、東京では32名と前年度を上回る数の学生さんが本院ブースを訪れて下さり、All Miyazakiブース全体も大変賑わいました。宮崎に縁もゆかりもない学生さんの来訪も多く、本院プログラムについて紹介する非常に良い機会となりました。今回宮崎県ブースを訪れた学生さんには、ぜひとも病院見学をご検討いただけると幸いです。



(福岡会場) 宮崎県ブースの様子



(東京会場) 左から2年次研修医の中村先生(県立延岡病院)、1年次研修医の本田先生、戸松先生



(福岡会場) 左から1年次研修医の松永先生、戸松先生、2年次研修医の日高先生

宮崎大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム

▶▶▶ 2つの“NEW!”をご紹介します! ◀◀◀



令和6年度から、希望者は宮崎大学研修中に 週末の救命救急センター研修ができるようになりました!

本院臨床研修プログラムでは、以前より本院研修中の研修医は定期的な時間外救急研修の機会がないことが課題でした。そこで、本院救命救急センターの全面的なご協力のもと、令和6年6月より本院研修中に救急当直研修を希望する研修医に対し、週末に救命救急センターでの当直研修を行えるシステムを新たに構築しました。対象者はまず2年次研修医から開始し、運用安定後の秋頃からは1年次研修医にも拡充予定です。勤務時間帯は金曜夜から日曜夕方までを4区分し、研修1回あたり日勤約9時間、夜勤約14～16時間となります。正規当直の救急専門医1～2名とともに診療を担当するため、安心な環境で手厚い指導を受けられます。希望者申込はグループ別に期限設定してWebで受け付けており、順調に実施できています。

以下、本システムをご担当いただいている救命救急センター指導医と実際に週末研修を経験した2年次研修医からの感想です。



週末救急当直研修事前オリエンテーションの様子



週末救急当直研修の様子

研修の目的

大学病院での救急科以外での診療科研修中であっても、希望する研修医が週末を活用して救急専門医とともに本院救命救急センターで研修するシステムを新たに設けることで、質の高い救急研修の機会を継続的に提供することができる。

研修の特長

- ▶救命救急センター正規定直医1～2名と一緒に救急対応
- ▶大学救命救急センター研修初めてでも、オリエンテーション指導あり
- ▶月3回まで研修希望可能（手挙げ制）
- ▶待機時間も含めて時間外手当あり（1回約9～16時間）

研修希望調査シート

★月	金曜夜～土曜朝	土曜朝～土曜夕	土曜夜～日曜朝	日曜朝～日曜夕
第1週	①●先生	②▲先生	③◆先生	④■先生
第2週	⑤	⑥	⑦	⑧
第3週	⑨	⑩	⑪	⑫
第4週	⑬	⑭	⑮	⑯



救命救急センター指導医からのメッセージ



田中 達也 先生

医学生が臨床研修先を選ぶ基準の1つに、今後の医師人生につながるような救急研修ができるのか、という点が挙げられます。その点で、これまで当院での初期研修では救急科研修期間以外で救急研修をすることができませんでした。今回、研修医教育に熱い想いを持つ小松先生をはじめとした皆様の協力のもと、本研修が始まりました。都会の北米型ERのような症例数はありませんが、軽症から重症まで、また外来対応から病棟管理まで一緒に勉強しましょう。



佐々木 朗 先生

臨床研修医の救急当直に必要なことは何でしょうか？症例数、手技の多さはもちろんですが、救急医から常に救急を学べる環境にあることは非常に重要な要素だと考えます。当院は県内で唯一、救急医が24時間365日勤務しているのので、当直の際は救急初期診療や蘇生について手厚い指導を受けることができます。また、救急外来の合間では救命救急センターで集中治療管理を学ぶことができ、当日の卒次第ではドクターヘリやドクターカー研修も可能です。このシステムを活用して、ぜひ救命救急センターで当直研修をしてみてください。

NEW1

実際に週末救急当直研修を 経験した 2年次研修医からの感想



松田 風音 先生

救急週末当直ではファーストタッチをさせてもらえて、救急の先生からアドバイスをいただけるのでとても勉強になります。今までは大学救急当直できるのは救急科を回っている人など限られていたので、救急当直できる機会がもらえて嬉しいです！



益山 典子 先生

今回の当直では中心静脈カテーテル挿入の介助を行ったり、重症肺炎で入院された方の治療の様子を見学したりしました。先生方は優しく、一つの質問から派生してプラスアルファの所まで教えていただき、集中治療に関する話などとても勉強になりました。



長濱 宗嗣 先生

夜間当直に入らせていただきました。3ヵ月ぶりの当直で緊張しましたが、先生方に優しく指導していただきました。ドクターカーの同乗も可能な日があり、先生方から様々な指導を受けることができる有意義な当直研修だと思いました。



長濱 薫 先生

私が夜勤に入った時は6台の救急車が来ました。失神や尿管結石など様々な症例があり、指導医の先生のもと初期対応をさせていただきました。教育熱心な先生方のもと充実した当直を経験できました！



増田 樹 先生

回診では、どの科にも必要な全身管理について学ぶことができました。救急車は上級医と一緒に対応したため、苦手意識がありましたが、安心して対応することができました。今後も継続して参加したいと思います。このような機会をいただきありがとうございます。

NEW2

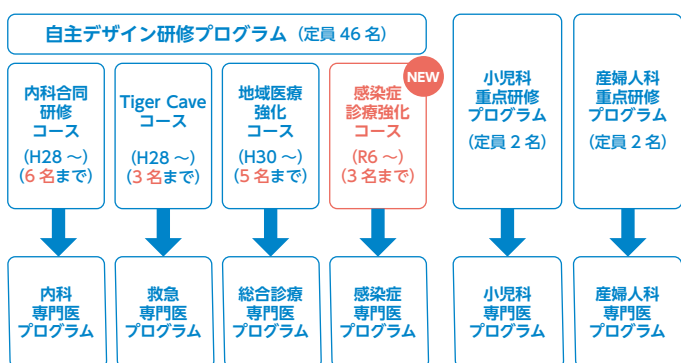
令和6年度から、自主デザイン研修プログラムの内部コースに「感染症診療強化コース」が新設されました！

本院卒後臨床研修プログラムの1つ「自主デザイン研修プログラム」には、希望者のみ選択可能な『内部コース』というものを設けています。内科分野の総合臨床能力を高めることを目標とした“内科合同コース”、大学病院を中心に、ある程度の重症度を有する急性期疾患全般への初期対応と全身疾患管理を濃密に研修する“Tiger Caveコース”、3ヵ月の地域医療研修を中心に、地域医療・総合診療医学講座の教員のサポートを受けて研修できる“地域医療強化コース”の3つに加え、今年度から新たに“感染症診療強化コース”が新設されました！

COVID-19の世界的な流行で、感染症診療の重要性が再認識された昨今、感染症診療及び感染制御を実践できる人材の育成が期待されます。

自主デザイン研修プログラム『内部コース』の特徴

- 自主デザイン研修プログラムの骨格を維持しながら、特徴を持って工夫された内部コース。
- 自主デザイン研修プログラム選択者のうち、**希望者のみ**選択可能。



※特化プログラム・内部コース選択者が関連する専門医プログラムへ強制的に進むことはありませんが、いろいろと利点もあります。

感染症診療強化コースの概要

NEW

【コース概要】 新興感染症や薬剤耐性を含めた感染対策は、医療安全と同様、特定の診療領域や臓器特異性にとどまらず医療機関全体として対応を求められる分野です。本コースでの研修により、病院全体の感染症診療（感染制御部での業務等）に寄与する医師養成の基盤形成が期待されます。

★強化コースの選択期間

- 【1年次】感染症内科 1 か月
- 【2年次】感染症内科 2 か月

強化コース

Step Up!

通常コース

- ① 重症・難治性感染症に対するアプローチを学ぶ
- ② 薬剤耐性菌感染症に対し最適な抗菌薬を選択できる
- ③ 地域における感染対策活動への貢献を目指す

強化コースのさらなる特典！

- ✓ 感染症の専門書籍を贈呈
- ✓ 学外イベントへの参加費を一部支援
- ✓ 海外(タイ)での学習実習に参加可能

- ① 代表的な感染症に対するアプローチを学ぶ
- ② 代表的な感染症に対し適切な抗菌薬を選択できる
- ③ 感染対策の基本原則を理解し、実践できる

難治性
感染症重症
感染症

肺炎

尿路感染症

指導医からのメッセージ

感染症内科 科長 高城 一郎 先生



『感染症診療強化コース』を選択することで、通常の感染症内科での研修に加えて、重症・難治性感染症に対するアプローチや薬剤耐性菌感染症に対して最適な抗菌薬の選択など、専門的な知識と技術を習得できます。また、強化コースの選択者には特典として、海外実習の機会、感染症に関する専門書籍の贈呈、関連イベント参加へのなどが提供されます。ぜひ『感染症診療強化コース』を選択し、より専門性の高い研修を受けてください！

研修医の声

歯科研修医 福永 麗 先生

将来、歯科のどの道に進もうと生かすことのできる全身の知識を早い段階から習得したいと考え、口腔外科で研修することになりました。当初は慣れることに手一杯でしたが、先生方に教えていただきながら徐々に理解できるが増えると共に、様々な知識を身につけることの面白さを実感しました。実際にいざ問診や処置を行うと、思うようにいかないことが多々あります。勉強不足であると同時に、これから多くの経験を積む必要があると痛感しています。1週間に2回はオペ室での大きな手術が行われます。数時間にわたる、癌の切除や頸部郭清、口唇・口蓋手術、骨切りなどを見学しましたが、それらの手術をこなす先生方の姿に感銘を受けました。

私は、3カ月間外部の開業医院での研修を行うコースを選択し、現在はその最中です。大学とは異なり、一般歯科の多岐にわたる技術に触れられるため、日々新鮮な気持ちで学習しています。

常に学び続ける姿勢を忘れず、研修医生活を充実したものにしたいと考えています。



医科研修医 上田 紗希 先生

研修医になって約3ヶ月たち、現在は感染症内科で研修しています。感染症内科では院内の血液培養陽性患者とコンサルのあった患者のプレゼンを行ったり、抗菌薬のレクチャーを受けたりしています。

さて、8月からマッチングの面接が始まるということで、私が宮崎大学で研修するおすすめポイントをいくつか述べたいと思います。

1つ目は子供を育てながら、自分のペースで研修できる点です。子どもの急な発熱時や保育園のお迎えなども考慮していただいて、とても働きやすいです。

2つ目は勉強会やレクチャーが豊富にある点です。呼吸器内科では胸部CTの見方、脳神経内科では神経診察の仕方、感染症内科では抗菌薬の選び方を教わりました。現場での症例や先生方の経験を交えてレクチャーしてくださるので毎回とても勉強になります。

他にも同期がたくさんいるのも魅力の1つです。ぜひ宮崎大学と一緒に研修しましょう！



上田先生(写真下中央)▶

CHECK!!

「内科学 はじめの一步」が始まりました！

「内科学 はじめの一步」は、卒後臨床研修センターの内科教員が世話人となり、当院内科診療科のスペシャリストがレクチャーやハンズオンセミナーを企画し、毎月第4月曜日に開催する勉強会です。

6月24日に今年度第1回が開催され、感染症内科の力武先生と高城先生がクイズ形式のレクチャーを開催して下さいました。

今年度の開催スケジュールは一覧のとおりで、合計9回を予定しています。「内科学 はじめの一步」は、自主デザイン研修プログラムの内部コース「内科合同コース」や内科ローテート中の研修医だけではなく、内科以外をローテート中の研修医や専攻医の先生方もご参加いただけます。是非ご参加ください。



2024年度「内科学 はじめの一步」スケジュール

2024年 6月24日	感染症
2024年 7月22日	神経内科
2024年 8月26日	腹部エコーハンズオン
2024年 9月30日	心エコーハンズオン
2024年 10月28日	現在調整中
2024年 11月25日	
2024年 12月23日	
2025年 1月27日	
2025年 2月17日	

行事案内(7月～12月)

7月	29日(月)	医師臨床研修マッチング面接
8月	20日(火)	医師臨床研修マッチング面接
	1日(木)、29日(木)	歯科医師臨床研修マッチング面接
10月	22日(火)	歯科医師臨床研修マッチング決定
	24日(木)	医師臨床研修マッチング決定
11月	23日(土)	研修ローテート選択説明会・修了説明会
	未定	第1回医科研修管理委員会、第1回歯科研修管理委員会
12月	14日(土)・15日(日)	指導医養成講習会【宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会】

「なんでも掲示板」 原稿募集！

宮崎市伝説、失敗リカバリー談、研修ある話など、研修に係わる話ならなんでも原稿募集中です！

連絡先

宮崎大学医学部 医療人育成課 卒後臨床研修係
内線2385/2386

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL0985-85-1864 FAX0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp

